

## 投資詐欺にご注意下さい！

顧問弁護士

黒岩法律事務所 黒岩英一



### 1. はじめに

今回注意喚起したいのは、金融商品詐欺（投資詐欺）です。

今年7月、埼玉県の医師がSNS投資詐欺で約3億9000万円をだまし取られる事件もありました。

詐欺の流れを知ることによる注意喚起と、被害を受けた場合の対策について、ちょっとだけ頭に入れておいてもらえれば幸いです。

なお、具体的な流れが妙に詳しいのは、被害者から話を聞いたことありますが、私自身が、興味本位で騙された振りをして話を聞くからです。

### 2. SNS型詐欺

よくあるのは、グループLINEで入金を促されるパターンです。

グループへの参加は、LINEの機能で入会させられたりすることのほか、SNSを通してグループを紹介されるなどします。

#### 【導入期】

グループのメンバーだけを対象として美味しい情報がもらえるというもので、メンバーのやり取りを見ているだけになります。

それっぽいだけの儲かる情報やグループの主催者を讃える内容が投稿され、「なんだこのよく分からないグループは」となるのですが、無料なので、もし儲かるなら、という気持ちで継続することになります。

このような手口なので、数日では終わらず、数週間から数カ月単位でやり取りがおこなわれます。

#### 【勧誘期】

あなたも一緒に投資をしませんか、という勧誘がおこなわれます。

応じると、アプリやサイトで口座を作るために、身分証の画像や身分証を持っている画像を送るよう指示され、口座が作られます。

最近では、騙すためにアプリやサイトを作り、個別の運用実績まで把握できるようにするなどしており、手口も手が込んできています。

#### 【回収期】

口座が作られたら、その口座へ入金することになります。

アプリの中身は嘘なので、被害者はとても儲かったような内容になります。

儲かった結果、もっと入金して儲けよう、と思うことになります。

騙されたことに気がつくのは、下ろそうとしたときに、いろいろな名目を付けて、追加で入金してもらう必要がある、などと言われたときが多いです。

また入金してもらおうとして、一部の出金に応じることもあります。

### 3. 判別方法

グループLINEの時点で詐欺なのですが、「詐欺じゃないかもしれない」と思っている人から相談を受けたら送金先を聞いて下さい。送金先の口座が個人名や投資先に関係のない会社名なら、反社会勢力に売られた口座で、確実に詐欺です。

### 4. 対処方法

この詐欺のミソは、一切リアルに会わないことです。このため、海外に拠点を有する詐欺グループがおこなっていることが多いといわれています。

この手の相談があったときに私が確認するのは、送金方法です。仮想通貨による送金ですと、追跡は非常に難しく、取戻しはほぼ不可能です。

送金先の口座が個人名や会社名なら、取り戻せる可能性があります。早急に警察に相談して、口座の凍結を試みることになります（弁護士からもできますが、警察の方が早いことが多いです）。もし口座にお金が残っていれば、法的手続きを駆使して回収を図ることも可能です。完全にスピード勝負なので、騙されたと思ったら即時に警察へ行くことが重要です。